

各 位

エーディア株式会社

エーディア、AIA装置用の間質性肺炎診断補助マーカーKL-6 測定用試薬 「Eテスト「TOSOH」II (KL-6)」を新発売

エーディア株式会社(本社:東京都、社長:横尾 毅、以下 エーディア)は、東ソー株式会社(本社:東京都、社長:山本寿宣、以下 東ソー)が製造販売する全自動蛍光酵素免疫測定装置(以下「AIAシリーズ」)で測定可能な、間質性肺炎診断補助マーカーKL-6 測定用試薬「Eテスト「TOSOH」II (KL-6)」を、2016年12月8日に新発売します。

本試薬は、エーディアと東ソーとの契約に基づき東ソーが開発し、2016年9月7日製造販売認証を取得しました。本試薬の発売に関しては、東ソーが製造、エーディアが販売し、エーザイ株式会社(本社:東京都、社長:内藤晴夫)が販売提携を行います。

間質性肺炎は、肺胞の壁(間質)に炎症を起こす肺炎です。原因は様々で、近年、代表的な疾患の一つである薬剤性の間質性肺炎報告症例が増加しており、その重要性と社会的関心が高まっています。KL-6(シアル化糖鎖抗原)は、間質性肺炎に特異性の高いマーカーです。間質を構成する細胞上に存在し、間質性肺炎になるとその濃度が上昇します。KL-6は血中に滲出するため、間質性肺炎の診断では血液中のKL-6濃度が重要な判定基準の一つになっています。

現在、エーディアでは、KL-6 測定試薬として「ピコルミ KL-6」(電気化学発光免疫測定装置用)、「ルミパルス KL-6 エーザイ」「ルミパルスプレスト KL-6 エーザイ」(全自動化学発光酵素免疫測定装置用)、「ナノピア KL-6 エーザイ」(生化学自動分析装置用)および「HISCL KL-6 試薬」(全自動化学発光酵素免疫測定装置用)を販売しています。これらに続き、今回医療現場で広く使用されている AIA シリーズ(対応機種:AIA-2000、AIA-1800、AIA-900、AIA-600 II、AIA-360)に搭載可能なKL-6 測定用試薬の販売を開始し、より多くの医療現場において間質性肺炎の診断補助に役立てていただくことにより、患者様のベネフィット向上に一層貢献してまいります。

以 上

[参考資料として、製品概要、用語解説、製品写真を添付しています]

<本プレスリリースに関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

エーディア株式会社 広報担当

Tel: 03-3865-4311

<本製品に関するお問い合わせ先>

エーディア株式会社 カスタマーサポートセンター

Tel: 0120-921-207

参考資料

■製品概要

| | |
|-----------|--|
| 製 品 名 | E テスト「TOSOH」Ⅱ (KL-6)免疫反応試薬 |
| 使 用 目 的 | 血清中のシアル化糖鎖抗原KL-6 の測定 |
| 対 応 機 種 | AIA-2000、AIA-1800、AIA-900、AIA-600Ⅱ、AIA-360 |
| 包 装 | 100 テスト用 |
| 希 望 納 入 価 | 85,000 円 |
| 製 造 販 売 元 | 東ソー株式会社 |
| 販 売 提 携 | エーザイ株式会社 |
| 販 売 元 | エーディア株式会社 |

■用語解説

間質性肺炎

肺は、酸素を取り込む肺胞という小さな組織が多数集まってブドウの房のような形をしています。この肺胞に炎症が生じると肺炎になりますが、肺炎は炎症の場所によって2つに大別されます。肺胞の壁(間質)に炎症を起こすものが間質性肺炎、気管支から肺胞に至る空気の通り道(肺胞腔内)に炎症が起きるのが肺胞性肺炎(一般的な肺炎)です。この2つの肺炎は治療方法が異なるため鑑別が必要です。

■製品写真



(E テスト「TOSOH」Ⅱ KL-6)